

# 新美南吉童話の魅力

## ～なぜ日本人は『ごんぎつね』に惹かれるのか～



今年是新美南吉生誕 100 年にあたります。南吉の代表作といえば「ごんぎつね」でしょう。1956(昭和 31)年に小学校国語教科書に登場して以来、今日に至るまでずっと教科書に掲載されてきました。多くの童話集・絵本にも取り上げられています。講座では、さまざまな観点から「ごんぎつね」の魅力に迫ってみたいと思います。

- 日時 平成25年11月22日(金) 午後2時～(4時終了予定)
- 会場 山梨県立図書館 2階 多目的ホール
- 定員 100名
- 講師 鶴田 清司 氏 (都留文科大学教授)

● 保護者、図書館職員、学校司書、保育士、読み聞かせボランティア、保健師など、子どもの読書に関心のある方ならどなたでも 参加できます。

- 申込・お問合わせ先  
山梨県立図書館 サービス課子ども読書推進担当  
TEL 055-255-1040 FAX 055-255-1042  
E-mail ken-tosho@lib.pref.yamanashi.jp

**参加無料**

● 鶴田清司氏 プロフィール

1955年、山梨県生まれ。1985年東京大学大学院教育学研究科博士課程満期修了。1985年都留文科大学文学部初等教育学科講師に就任。1988年に助教授、1996年に教授。教育学博士。全国大学国語教育学会常任理事、日本教育方法学会理事、国語教育サークル「都留ことばの会」代表。最近の主な著書に、『なぜ日本人は「ごんぎつね」に惹かれるのか～小学校国語教科書の長寿作品を読み返す～』（明拓出版、2005年）、『国語科教師の専門的力量的形成～授業の質を高めるために～』（溪水社、2007年）、『〈解釈〉と〈分析〉の統合をめざす文学教育～新しい解釈学理論を手がかりに～』（学文社、2010年）などがある。

● 申込方法

以下に御記入の上、FAX、郵送、電子メール等でお申し込みください。なお、定員に達した時点で締切とします(締切後にお申し込みいただいた場合は、ご連絡します)。

山梨県立図書館 サービス課 子ども読書推進担当 行

FAX 055-255-1042 E-mail ken-tosho@lib.pref.yamanashi.jp

※FAX送信の場合、送信票等は不要です。このままお送りください。

子どもの本を知る・連続講座 第4回「新美南吉童話の魅力」  
参加申込書

平成25年 月 日

氏名	所属機関名 (または“一般”)	職名	連絡先 (電話またはFAX)

※御記入いただいた個人情報は、今回の講座にのみ利用させていただきます。

会場案内図



山梨県立図書館

〒400-0024 甲府市北口二丁目8-1

- ◆ 図書館の駐車スペースには限りがあります。(153台)
- ◆ 図書館利用者は、1時間以内は無料、以降30分につき一般車は150円の料金が必要になります。
- ◆ できるだけ乗り合わせてお越しいただくか、公共交通機関をご利用ください。

この講座は、「第2次山梨県子ども読書活動推進実施計画」に基づき、また山梨大学の地域貢献事業の一環として、山梨県立図書館と山梨大学の共同企画により行われるものです。

今年度は「子どもの本を知る・連続講座」(全5回)として、子どもと本、読書に関する様々なテーマで開催します。参加申込みは各回ごとに行います。